

11月12日土曜日時刻は11時を回りました。

お聞きの放送はFM戸塚83.7MHzの周波数です。

リスナーの皆さんこんにちは！毎週水曜日エフエム戸塚の戸塚井戸端会議を担当しています、ピアニストの正村恵です。

そして、毎週月曜日戸塚井戸端会議ハッピーマンデーを担当しております戸塚密着型シンガーソングライター-Kahoです。

はい、Kahoさん、今日はよろしくお願いします。

お願いします。嬉しいです。

本当だね。月曜日と水曜日担当なのになかなか曜日が違うと会うこともあまり無いのでスタジオで。お会いできると嬉しいです。

本当に嬉しいです！今日は、1時間という短い時間ですがどうぞよろしくお願いします。

ということで、ここからの放送は、横浜市栄区役所からの防災啓発やエフエム戸塚による災害時の情報発信訓練を目的として、特番編成でお送りしていきます。

ということで本日は、横浜市立豊田小学校で開催されております豊田小学校地域防災拠点訓練の現場の様子を中継したり、栄区からの緊急割り込み放送を予定しています。

現場からは、栄区総務課の方からの訓練の説明やパーソナリティ田口晴奈さん、そして椿優衣さんからのレポートをお届けしていきます。

この後、11時54分までの時間となりますのでぜひ付き合ってください。よろしくお願いします。

そしてこの放送は横浜市栄区役所とエフエム戸塚との共同企画としてお送りいたします。

このあと11時5分頃からおかけする曲の間に、栄区役所とエフエム戸塚が防災協定に基づいて行います、緊急割り込み放送の訓練放送がございます。

はい、なので番組に、緊張感が有りますね。緊急割込みが入りますので実際に災害起こったらこういう感じになるのだからというのをぜひ耳で体感して頂けたらいいかなと思います。

ということでお届けしていきたいのですが、皆さんも、防災にまつわる何かエピソードとかありますか？

今日は防災訓練ということですが、天気もすごく晴れていて気持ちのいいということですね。本当ですね。

正村さんは小学校のときとかに何か防災訓練とかの経験ってありますか？

ありましたね、ただ訓練でサイレンが鳴って机の下に隠れて、避難場所に避難したというぐらいしかやったことがないです。

私もそうですよ、ラジオと協力してやるっていうのは、いいですよ。子供達の経験としてもすごくいいし、防災意識もさらに高まりそうですね。

いざ、大きな災害が起こったときに慌てずに済みますし、冷静に考えて行動ができるので、すごくいい試みだ

と思いますね。

私達も今日のこの時間で何か学べれば良いですよ。

はい、ということでぜひ皆さんも楽しみにお聞きください。

じゃあここで曲をかけましょうかね。

はい、それでは1曲言ってみましょう。

エフエム戸塚をお聴きの皆様。これより緊急割り込み装置を使って訓練を行います。これは訓練です。これは訓練です。こちらは栄区役所です。

現在、緊急割り込み装置を使って豊田小学校地域防災拠点からお送りしています。

大規模な震災や災害時に区民の皆様へ緊急にお伝えすることがある際は、このような形でお伝えします。今後も定期的にこのような形で訓練を行い、区役所として災害への備えを進めていくとともに、防災意識の高揚や減災行動の普及に努めていきます。

時刻は11時9分を回っています。お聴きの放送は、エフエム戸塚83.7MHzの周波数です。

お届けしていますのは、私、正村恵とKahoです。よろしくお願いします。

先ほど、栄区役所とエフエム戸塚が防災協定に基づいて緊急番組の訓練放送を行いました。

オープニングでも、お伝えしましたけれど、豊田小学校防災拠点訓練の現場の様子をこの後をお伝えしていきたいと思います。

現地からの栄区総務課の方のお話や、危険高所避難救助や水消火器、AEDの訓練の様子。

すごいですね、盛りだくさん。そんな様子をこの後、中継でお届けしていきたいなと思います。

消火器と違って、使い方はいざとなるとわかんなかったりするじゃないですか。あれどこでも引っ張ったらイイか？なんてね。

そうですね、でも、そういうのって私達もやっぱり小学生の頃って、あまり教えてもらわなかったなと思うんですね。

いや、私もそう思います。

ただ何か、例えば地震が来たら、すぐ机の下に隠れましょうとか、基本的な防災しか教えてもらわなかった。防災頭巾を被ってね。

懐かしい！座布団として使っていましたよね。

同い年だからなんかそうですよ。

そうですよ。嬉しいことに、使っていたものとか、時代を感じない感じ。

防災頭巾って久しぶりに見ましたが、でも大事ですよ。それだけじゃなくてね、消火器の使い方とか実際に、学べるのだったらやっぱり知っておいて、損はないと思います。

そうですね。災害とかそのものを防ぐことってなかなか難しいじゃないですか。

そうですね、いざというときの為に、備えということは誰でもできるから、いざというとき安心して動けたらいいなと思いますね。

それを子供のうちから、覚えておけるっていうのはすごくありがたいことですね。

だからすごい取り組みだなと思います。

そして現場からの情報によりますと朝 8 時 20 分ぐらいから既に豊田小学校周辺にたくさんの地域の方が集まっていました。

早い時間から。皆さんお疲れ様です。

でもそれだけ防災意識が高いのですね、その高さをちょっと感じさせられましたね。

今日は 1 年生から 6 年生まで全員参加、ということですよ。

なかなか無くないですか、普通は何年生から何年生までみたいなの。何年生限定みたいなののが普通かもしれないけど、全校生徒をあげてやるっていうことは、すごいなと思います。

ましてや、土曜日ですしね。

はい、かなり大規模なんじゃないかなと思います。この後、その様子をじっくりお伝えしたいなと思っていますので皆さんも是非お聞きください。

時刻は、午前 11 時 17 分を回っています。

エフエム戸塚 83.7MHz の周波数でお届け中。今日は、エフエム戸塚そして栄区役所との共同企画でお送りしています栄区防災訓練の特番をお送りしていきます。

それでは、ここで栄区区役所総務課危機管理係長の芦葉さんとお電話が繋がっています。現場に行っておりますパーソナリティの椿優衣さ～ん！

はい、こんにちは皆さん聞こえてますでしょうか？

はい。ありがとうございます。よろしくお願いします。

よろしくお願いします。

はい、栄区豊田小学校に来ています。お隣に総務課危機管理係長の芦葉さんにお越し頂いていますのでお話を聞いていきたいと思います。お願いします。

はい。それではよろしくお願いします。

よろしくお願いします。こんにちは。栄区役所総務課防災担当の芦葉です。今日、エフエム戸塚さんと一緒に栄区の豊田小学校で実施される合同防災訓練の様子をお伝えします。

大規模災害時、行政は多くの手段を使って避難情報などの災害に関する情報を市民の皆さんにお伝えします。テレビやラジオ、ホームページ、SNS など手段は様々です。栄区は、エフエム戸塚と災害時における協力協定を結んでおり、緊急で災害情報を伝える必要がある際に、先ほどのようにエフエム戸塚の緊急割り込み放送を実施します。

はい先ほども緊急割り込み放送をありがとうございました。普段から災害時の協力体制を確認していますが、今日の訓練はどのような訓練になるのでしょうか？

はい。今日の合同防災訓練では、大きく分けて二つの訓練を実施します。

一つは地域防災拠点と言われる避難所の開設訓練です。横浜市では震度 5 強以上の地震があった場合指定された小・中学校が地域防災拠点という避難所として開設されます。地域防災拠点は地域の皆さんが運営委員として開設・運営する避難所です。

家が壊れて住めなくなった人は地域防災拠点で生活します。今日は仮設トイレの組み立て訓練などを実施しています。

もう一つは消火器や心肺蘇生法のやり方を学ぶ訓練で、大規模災害時に消防などはすぐに現場には駆けつけられません。

市民の皆さんでもできる初期消火や応急手当の方法などを学びます。今日は豊田地域の住民の皆さんをはじめ、豊田小学校の生徒の皆さん、栄消防署豊田出張所など、多くの方が訓練に参加しています。この放送をお聞きになられて、少しでも地域の防災に興味を持っていただけたらありがたいです。

はい、芦葉さんありがとうございます。また後で小学校の子供達の水消火の訓練と AED の取り扱いの訓練を行うときもまた芦葉さんにお越しいただけたらと思っておりますのでよろしくお願いします。

ということで、今日は危機管理担当芦葉さんにお話いただいています。

現在栄区の豊田小学校からお届けしております。引き続き番組もお楽しみいただけたらと思います。放送をお返し致します。

はい、椿優衣さんありがとうございました。またちよくちよく現場の様子をお電話で繋いでお話を伺っていきたいと思います。

いやあそれにしてもすごいですね。訓練を二つ、大きく分けて実施しているのですね。

確かに消防の方とか、すぐ駆けつけられないときが多いじゃないですか。そういうときに自分たちで先にできることをおけばもっと被害も少なくなってくるのかなと思うので、自分たちにできることを学ぶいい機会なのかなと思いますね。

ありがとうございます。また、後ほど電話を繋ぎましてお話をいろいろ伺っていききたいと思います。

時刻は午後 11 時 26 分を回っています。エフエム戸塚と栄区役所が共同企画でお送りしています、栄区防災訓練の特番をお届けしています。

担当は正村恵と戸塚密着型シンガーソングライター-Kaho がお届けしております。

先ほども芦葉さんからのいろんな訓練にまつわるお話をお届けしてまいりましたが、ここでまた再び現地の様子を届けていただきたいと思います。

はい、現地にいます、椿優衣さ〜ん。

はい、椿です。

引き続きよろしく申し上げます。

よろしく申し上げます。

はい。そちらの様子いかがでしょうか？

はい。こちら今、豊田小学校に居ますけれど、先ほど豊田消防出張所の救助隊員による屋上からの救助訓練が実施されました。すごい迫力があってですね、救助隊員の方が要救助者のダミーの人形なのですが、背負った状態でロープを使って屋上から地上までスルスルと降りてきて、救助隊員の方が素早く地上までも駆け下りるように降りて来ました。見ていた小学生もドキドキしながら、ガンバレーガンバレーという声援と共に降りてきた瞬間すごい拍手で盛り上がっていました。

そして訓練を実施していた、豊田消防出張所の中戸川所長に今来て頂いていますのでお話を聞いていきたいと思っておりますよろしく申し上げます。

はい、皆様聞こえてますでしょうか？豊田消防出張所の中戸川と申します。今日は、防災訓練だったのですが、実際に大規模災害が発生した際に、この豊田小学校に皆さんが避難していただけて色々な物資を受け取るとか、避難するための設備を地域の方と一緒に設営する訓練を行っています。

はい。実際に小学校で防災訓練があるとか、地域で防災活動があるっていうのは聞いたことあるけど合同で行われるってちょっと珍しいんじゃないかなと思うのですが。

はい。ありがとうございます。そうですね。通常であれば地域の方が、自分達の地域は自分たちで守るという形で訓練をするのですが、今日は我々特別救助隊と消防団員の方が一緒に訓練に参加して、小学生の子供達に対して小さいうちから防災教育を学んでもらいたいという思いから我々も参加させていただいています。

はい、ありがとうございます。子供たちもすごい憧れの眼差しを向けながら、先ほど中戸川所長さんが子供たちに向けてお話をしていたときに、何か心をぐっと掴むようなお話の仕方が、やっぱり地域に寄り添っている消防なんだな〜っていうのがすごく伝わってきます。何か秘訣とか心構えとかあったりするのでしょうか？

はい、そうですね実際私個人も、子供 3 人いるのですけれども、子供と同じ目線であったり、子供の視覚に訴える、そういったことを心がけて私は日々の業務を務めているのが現実ですね。

素晴らしいですね。なんか地域を守ることが子供を、子供を守ることが地域、そして社会全体守っていくことに繋がっているのではと思います。今日の訓練は、地域とその子供たちにとってどんな訓練になるのでしょうか？

はい、ありがとうございます。今日の訓練に関しましては、消防職員と消防団員の方が一緒になって訓練をやっている状況になっています。

その中で、小さいお子さんがこういった訓練に参加することで防災意識が高まってくれるのかなというところで我々も参加しているような状況でございます。

はい、ありがとうございます。ちなみに消防と消防団ってお話が出たと思うのですが、違いが有るようなので教えていただいてもよろしいでしょうか？

はい、ありがとうございます。消防職員は、横浜市の職員で公設の消防職員という形で日々、火事や救助要請がありましたら速やかに駆けつける職員であるのですが、消防団員に関しましてはやはり通常の家業がありながら消防のお手伝いをしてくれる、非常に心強い味方で、我々も災害現場では消防団員の方にお世話になりながら消火活動等を行っている状況でございます。

今日も消防団員の方に、実際に AED の取り扱いして頂き、本当に消防団の方々の活躍には助かっています。今も、消防団員の皆様は、地域の防災力を上げるために消防団員を募集しております。もしご興味のある方がいましたら消防署もしくは豊田消防署でも結構です、お声がけ頂いて是非団員の方に繋がっていただくと我々も助かります。

はい、ありがとうございます。横浜市と地域が、連携して地域を守っているのだとヒシヒシと伝わってきました。また、先ほどちょっと素敵だなと思ったのが、豊田消防出張所で訓練を行っているということで、その見学もすることができるお聞きしたんですけれども、良いのですか？

はい。いつでも来ていただければと思います。ちなみに、豊田消防署所裏に訓練室がございます。シャッターが閉まっているかもしれませんが、その際は、インターホンを鳴らしていただければ、消防車を見てもらったり訓練を見てもらったりということはできますので、遠慮なくお越しいただければと思います。

はい、ということで本日は、豊田消防出張所から中戸川所長に来て頂き素敵なお話をいただきました。ありがとうございます。

とんでもないです。ありがとうございました。

現場からは以上になります。

はい、椿さんありがとうございましたありがとうございます。

また、引き続きこの後も現場の様子をちよくちよくお伝えしていきたいなと思います。

いやあ～それにしてもすごいです。日頃から防災意識を高めておこうっていうのもそうですけれども、中戸川所長のお話にあったように小さいうちから防災意識を持ってもらいたいっていうその気持ち一つで小学生の皆さんにもわかりやすく話をされているっていうのがすごく印象的でした。

あと視覚に訴えるっていう、お言葉が出てきましたけど、それもすぐ子供にお話するとか何かを訴えかけるっていうのは視覚に訴えるっていうのはすごく良いのではないかなって思っています。

そうそう、まず目で見る情報でわかるから。

その時は本当の意味は深くはわかってなくても、大人になったときに何か目で覚えていたことが「こういう意味があったんだな」とか思い出として蘇ってきやすいと思うんですね。

確かにそしたらいざというときにも行動に移しやすいですね。

そうそう、これすごく素敵なことだなと思いました。

本当にこれ全国でやってほしいね。

消防署の訓練も見られるんですね、普段から。

知らなかったですね。知らなかった。

何かそういう情報も、結構いろんなところで適宜発信して頂けたら日ごろから皆さんも、もちろん子供から大人まで防災意識ってすごく高まると思うので。いざというときに慌てないですし、すごくいい取り組みだなと思いました。はい、ありがとうございます。

栄区役所総務課危機管理室係長の芦葉さんにお話を伺いたと思います。よろしくお願いします。

はい、よろしくお願いします。現在、豊田小学校の5年生と6年生の子供たちが水消火器訓練とAEDの取り扱いの訓練を行っていますけれども詳しくお話いただければと思います。

はい。まずは、水消火器の訓練ですね、水消火器の訓練はご家庭にもある消火器の訓練で、消火器は市民の皆さんに一番身近な消火器具ではないでしょうか？ 椿さんも消火器を訓練でも使ったことはありますか？

そうですねえ～使ったことあるんですけど、いざその場になったときに慌てずに使えるかどうかちょっと心配ですね。

そうですね。やっぱり訓練をしないと不安になると思います。でも消火器はとても簡単に使えます。

今、実際にやっている小学生もとても上手に訓練できていますね。消火器はですね、安全ピンを外す、ホースを外す、レバーを握るという三つの手順で簡単に使えるんですね。今日は訓練なので水が出ていますが、実際は粉末の消火薬剤が出てきます。

火災にはいくつかの種類があって、紙や木が燃えているものであれば水をかけても消せますが、天ぷら油の火災等で水をかけたらかえって危ないですよ。はい、消火器であれば、そういった火災でも安全に消すことができます。

そんな消火器ですが、どこで購入することができるのでしょうか？

はい、今はホームセンターなどでも売っています。購入したら定期的に点検をして、容器が錆びたりしていないか確認をしてください。

そうですね、実際にいざ使うときに使えないとね困りますからね。

はい。それで続いては体育館で、人形を使った心肺蘇生法の訓練を子供たちがしていますね。

はい。心肺蘇生法の訓練の目的ですが、人間は心臓が止まってしまうと脳に酸素が運ばなくなってしまいます。

脳の機能を維持するためにも、いち早く心臓を動かさなくてはなりません。心臓マッサージは胸を強く押すことで血液を脳に送り込みます。胸の真ん中を 5 センチぐらい一分間に 100 回から 120 回のテンポで押してください。

ポイントは強く早く絶え間なくです。近くに AED があれば AED も使いましょう。AED は心臓に電気ショックを与えて心臓を正常に動かすものです。スイッチを入れると自動で手順が音声で流れますので、音声に従ってパッドを胸に貼ってボタンを押すだけです。

電気ショックと聞くと感電したりしないか不安になるかもしれませんが、誰でも安全に使えますよ。AED は駅や交番、公共施設や大きなスーパーと様々な場所で置かれています。自分の家の近くのどこに AED が置かれているのか調べておくといいですね。

そうですね、いざというときにってことですね。小学生の子供たちも消防団員さんのお話をじっくり聞いて上手に使えている様子が見えましたね。

はい、一生懸命に訓練している小学生の姿を見て、非常に頼もしく思います。やはり防災の意識は小さい頃から持っておくと大人になっても役に立ちますので、こういった訓練を大事にしたいと思います。

はいそうですね。お話いただきまして誠にありがとうございます。これからもね、こういう地域活動を子供たちと大人とみんなで繋がりながら防災に対して強い気持ちだったりとか、あと熱い気持ちを先ほどの中戸川さんもそうですね、みんなが、何か意識しながら生活できたらいいなって思いました。

ということで今日は栄区役所総務課危機管理係長の芦葉さんにお話をいただきました。ありがとうございます。ということで現場からは以上になります。スタジオにお返ししたいと思います。

優衣さんありがとうございました。栄区役所の芦葉さん、お話をどうもありがとうございましたありがとうございました。

優衣さ〜ん。

はい、こちら現場の樁です。よろしくお願ひします。

はい、よろしくお願ひします。本日、豊田小学校防災拠点訓練は順調に開催されています。ここで最後に豊田小学校防災拠点委員長、毛利さんにインタビューしていきたいと思ひます。毛利さん、よろしくお願ひ



いたします。

はい、今日はもう朝から準備に取りかかり、今着々と終わっていますけれども、この地域と学校のこの防災に対する結びつきってすごいなと感じたんですけれども、いかがですか。

そうですね今年でちょうど 15 年目になるんですよ、ここは多分学校と一緒にやるのは一番古いと思います。

これはもうもちろん学校の協力ができないことですので、学校・消防・行政、みんな一生懸命いろいろやってくれたお陰で無事順調に進んでおります。

1 人 1 人が独立して自分がやらなければいけないことを確実にやっていくっていうのって珍しいかと思うんですけど？

そうですね、それも毎回同じじゃなくて、毎回別な人間がいろいろ動いています。誰が来ても分かりやすいようにそういう一つのマニュアル的なものがあるので、その通りみんな動いているっていう感じですね。

全てマニュアル化されていて、それが行き渡っているということですか？

あと安全確認のために各ご家庭が黄色いリボンをかけるということなんですけど、そこも詳しくお話いただいてもいいですか？

毎年安否確認訓練っていうのをやるんですけども、年に今 4 回、これからは 2 ヶ月にいっぺんやろうかと思っていますけど「支えあいカード」ということで、避難所に自力で避難できない人たちを対象に見て歩いています。各組長さんが我が家は大丈夫っていうのを確認して、黄色いリボンがないところはみんなピンポン押しして訪問をして大丈夫ですか？ということを確認をして歩いておりますね。

先ほどインタビューで回っていた田口晴奈さんも各お家を見るとあの黄色いリボンがかかっているお家もあってなんていうお話もしていて今日もここ豊田小学校で消防と地域の皆さんでこうやって防災訓練をされていますけれども、何かこういう地域の結びつきって秘訣というのがあるのですか？

やっぱり、昔からのそういう流れっていうかカルチャーですね。そういうのが有って、学校も地域の人たちと協力してくれるし、地域でも本当に何も言わなくてももうどんどん自分たちで動いてくれて、そういうのは本当に助かっています。

いや本当に今日朝からずっと見させてもらっていたんですけども、その団結感って言うんですかね、すごいなと思って。あと毛利さんのお喋り演説ですか、もうちょっと何かひと笑いが起きるようなところもありましてなんかそれもなんか地域をまとめていっている所以なのかな？なんて感じたのですけれども、やはりこの地域が好きなのかなって思うのですけれども、どんな思いがあるんでしょうか？

そうですね、やっぱり安全安心のまち作りというのを考えたときに今一番重要視しているのは「見守り」。この見守りも老人だけじゃなくて、子供たちの見守りということで 2 - 3 日前もそういう専門の部会を開いていき色々動いています。

いやあ～本当に地域の力があるかないかで今後の防災って本当に変わってくるなとすごくヒシヒシと感じていて、消防も消防団員さんがいるからこそという話もありましたので、何かあったときに行政職員だけだとやはり人手は足りないから、地域の力が必要だと先ほどもお話いただいていたんですけども、皆さん本当にそれぞれ何かもうこういう準備をするっていうのがすごいですね。

その通りだと思います。一人一人が本当に認識してくれば、もっともっといまちになると思いますので、これからもそういう風にやっていきたいと思っています。

はい、ありがとうございますことで、本日豊田小学校で行われていた総合防災訓練豊田小学校防災拠点委員長も毛利さんからお話をいただきました。ありがとうございました。

ありがとうございました。またよろしく願いいたします。

ということでお話たくさんいただきましたけれども、やはり子供たちも積極的にお話を聞こうという姿勢とか、訓練に参加しようっていう真剣な眼差しがすごく感じられる今日防災訓練でした。以上、現場からでした。

はい、椿さんありがとうございました

はい、ありがとうございます。